



# 福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59  
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456(大代表)

©福島建設工業新聞社  
公社日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.fk-news.co.jp>  
e-mail [hensyu@fk-news.co.jp](mailto:hensyu@fk-news.co.jp)

● 緑は生きるあかし

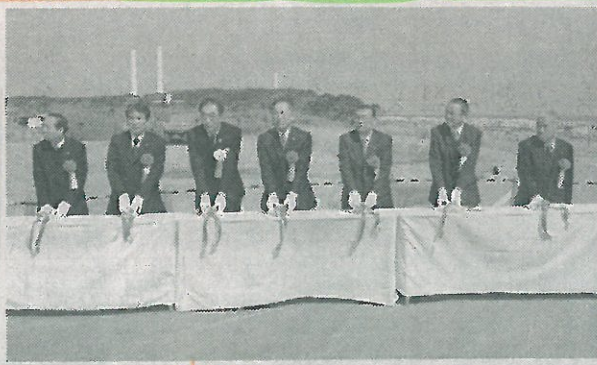
- ◆ 造園緑化  
豊かな「緑環境」の構築
- ◆ 法面保護  
自然循環型工法
- ◆ 雨水活用  
雨水の過長期保水システム
- ◆ 屋上開発  
屋上緑化で環境改善・保全

株式会社 緑生建設

郡山市並木五丁目5-17  
TEL024-922-7706  
FAX024-922-4444  
田村営業所 三春町斎藤字町田24

## 広野町 県事業が本格始動 復旧・復興工事で起工式

県が実施する広野町の復旧・復興工事は16日、下浅見川地内の現地で行われた。安全祈願祭は広野東地区復興工事連絡協議会、起工式は県の主催。



県が実施する広野町の復旧・復興工事は16日、下浅見川地内の現地で行われた。安全祈願祭は広野東地区復興工事連絡協議会、起工式は県の主催。

長、横山佳弘横山建設社長、西本信雄西本建設社長らがクワ入れし、出席者が玉ぐしをささげて工事を祈願した。施工者を代表して木下社長が「40億円を超す大規模事業。各社の総力を結集して取り組む。この事業が福島県の復興希望の年と位置付け、早期復興に向けて双葉地方の復興に向けて大きな一歩となる」と起工宣言し、渡辺部長、遠藤町長らが重機の作業開始ボタンを押して事業をスタートさせた。

復旧、県民の元気回復につなげるよう力を尽くしていくと決意を述べた。引き続き起工式が行われ、渡辺部長が「震災による津波は町の機能に甚大な被害を及ぼした。県事業により、多重防御による町の防災機能の向上を目指す。一日も早い復興に向け、力強い事業執行を果たしていくことがわれわれの責務」とあいさつし、遠藤町長が「今年をふるさと再生・復興希望の年と位置付け、早期復興に向けて双葉地域の先進として力強く前進していきたい」と県の協力を感謝を述べた。

り東側の広範囲で家屋流失や町機能を失うなど大きなダメージを受けた。町では既に避難者の帰還に向けて災害公営住宅の整備や公共施設などの整備に入っている。

県は津波被害を受けた沿岸部で町と一体となった復興整備を行う。折木海岸(436㍍)、折木川(328㍍)、浅見川(641㍍)、北迫川(661㍍)は堤防高上げ工

会津若松市(100戸)  
南相馬市(900戸)  
いわき市(1,760戸)

地区	戸数	階数	備註
東町本谷地区	200戸	W3階(想定)	買取
確定戸数	1,042戸		
用地選定中	718戸		
二本松市(340戸)			
油井(根柄山)地区	70戸	W2階(想定)	買取
確定戸数	70戸		
用地調整中	270戸		
川俣町(170戸)			
川俣町新中町(川俣町営)	40戸	W2階(想定)	
確定戸数	40戸		
用地調整中	130戸		
三春町(220戸)			
三春町恵下越(葛尾村営)	125戸	W2階(想定)	
確定戸数	125戸		
用地調整中	92戸	W2階(想定)	
三春町平沢地区	92戸	W2階(想定)	買取
確定戸数	217戸		
用地調整中	3戸		
その他(400戸)			
桑折町(桑折町営)	25戸	W2階	県代行(木)
川内村宮ノ下(川内村営)	15戸	W2階(想定)	
川内村宮ノ下2(川内村営)	10戸	W造(想定)	
大玉村横堀平地区(大玉村営)	67戸	W2階(想定)	県代行(木)
確定戸数	117戸		
用地調整中	283戸		

### 県の発注見通し公表

県は、例年4月中旬に行っていた年度当初の年間発注見通し公表を前倒しする。

復旧・復興工事の本格化等に伴う事業量の増加で不調や応札回避が増えている中、工事の発注情報等

8900戸とした。当初の37000戸について27年度末までに完成させるため、県内の力を主に整備を図る考え。野内忠宏県土木部次長は「強い意思を持って進めた。発注情報等をできる

# 手から建設ピーク